

工学部・工学研究科 在学生の皆さんへ

工学部長・工学研究科長
宮崎 誠 一

新型コロナウイルスの感染が拡大してからというもの、学生生活全般に亘って厳しい行動制限・制約、とりわけ修学や課外活動において不自由を強いられたことで、少なからず不安やストレスを感じていることと思います。そのコロナ禍も、最近になってようやく感染者数が大幅に減るなど、明るい兆しが見え始めました。

工学部および工学研究科では、昨年度の感染状況が厳しい中でも、感染症対策を講じつつ、可能な限り皆さんが教室や研究室に来て学ぶ機会を確保するよう努めてきましたが、今後はより一層、皆さんが以前のように大学で過ごせる機会を増やしていく予定です。

コロナ禍が長く続く中で、大学生生活に悩みを抱え、友人にも会えず、自宅や下宿で孤立してしまっている方がいると聞いています。学生の皆さんは、一人で辛くなった時、どうか回りの人たちにSOSを発することを躊躇しないでください。家族や友人に相談することができればよいですが、是非、大学にも頼ってみてください。大学には学生支援本部などの相談窓口があります。もちろん、そのような窓口を利用することも一つの良い方法ですが、皆さんのすぐ近くには、多くの相談できる相手があります。チューターや、学年担当をはじめ、各授業担当、実験担当や学修アドバイザー教員、研究室の教員・スタッフたちは、皆さんから何か相談があった時は、一緒に解決方法を考え、必ず力になってくれるはずです。また、教務課や学科・専攻事務室の職員の人たちにちょっと声をかけてみても構いません。とにかく、回りの人たちに自分は困っている、ということを発してみてください。

コロナ禍を受けて、工学部・工学研究科は、学生の皆さんの声に耳を傾ける体制をより一層強化し、皆さんの修学を応援し、サポートを拡充しています。教職員一同、皆さんのストレス、不安や悩みの解消・低減に役立つことができると願っております。